

みやぎGPNニュース



今回の 内容

- ネイチャーポジティブとGX ●ダイナミックケイパビリティについて
- グリーン購入取組ランキング発表
- ◆9月28日「リふ環境まるごとフェア2025」に出展します！
- ◆居久根の知恵に学ぶネイチャーポジティブな地域との関わり方

2025.9

Vol.34

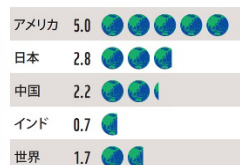
用語	概要
SX	Sustainability Transformation(サステナビリティ・トランスフォーメーション) 企業と社会のサステナビリティを同期化させた上で、企業と投資家の対話において双方が前提としている時間軸を長期に引き延ばす経営の在り方や対話の在り方
DX	Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション) デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセスを変革し、新しい価値と競争優位性を創出する取り組み
GX	Green Transformation(グリーントランスフォーメーション) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光、風力などのクリーンエネルギー中心の発電方法へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み
SDGs	Sustainable Development Goals(サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ) 国連サミットで決められた17の目標と169のターゲットから成る国際社会の『持続可能な開発目標』

※今回は冒頭で、近年のサステナビリティ関連についての横文字を解説しておきます。

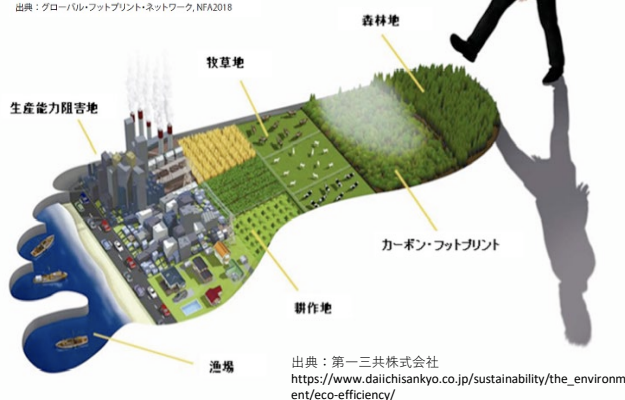
●「ネイチャーポジティブ」とGX

私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様な生物が関わりあう生態系からの恵み(生態系サービス)によって支えられており、生物多様性を守ることは法人・個人問わず重要となります。改めてSDGsは国連で決められた具体的目標であり、私たちは即座に地球一個分の暮らし方を取り戻さなければなりません。ネイチャーポジティブはすべての政策の上に立つ概念でなければなりません。しかし生物多様性を数値化・定量化することは極めて困難です。グローバルな社会を生き抜くために世界は独自の技術を磨き競争してきました。日本は、一次エネルギー供給の約8割を化石エネルギーに依存し、化石燃料を自給できる国とは異なり、エネルギー安全保障という観点からも「エネルギー安定供給／経済成長／脱炭素」の3つを同時追求するGXをブレずに堅持する必要があります。2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系の効果的な保全も見据えた上でのGX投資、まさにハイブリッドで加速化が必要です。

地球は何個必要?
もし世界人口がその国と同様の生活をしたら…



出典：グローバル・フットプリント・ネットワーク、NFA2018



●「ダイナミックケイパビリティ」とは？

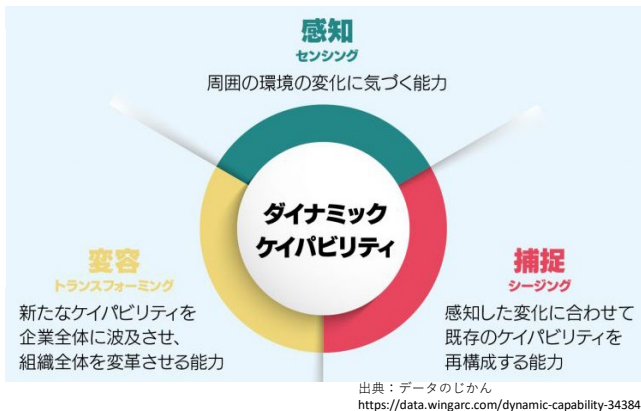
近年、企業経営におけるキーワードとして注目を集めているのが「ダイナミックケイパビリティ(Dynamic Capability)」です。これは、急速な環境変化や技術進展の中で、企業が柔軟かつ継続的に自己変革する能力を意味します。特にデジタル化やグローバル化が進む現代において、カーボンニュートラルに向けた取組と同時に企業の持続的成長を支える「変革力」として不可欠な概念となっています。

※ダイナミックケイパビリティは、次の3つの要素によって構成されます。

- ①センシング(Sensing) 顧客ニーズや技術トレンドなどの変化を的確に察知し、データを収集・分析する能力
 - ②シー징(Seizing) 機会を戦略に変換し、資源を最適配分して即座に行動へ移す意思決定力
 - ③トランスフォーミング(Transforming) 組織構造やビジネスモデルを柔軟に再設計し、持続的に変革を起こす能力
- これら3要素が機能することで、企業は変化を成長機会へと変えることができます。

企業がダイナミックケイパビリティを高めるための5つの実践すべきポイントをまとめます。

- ①変化を捉えるインサイト基盤の構築（モニタリング体制の強化）
- ②組織横断的な意思決定と資源再配分の仕組み化
- ③デジタル人材の育成とデータリテラシーの向上
- ④固定化したルーティンに疑問を持つ組織文化の醸成
- ⑤社外パートナーやスタートアップとの共創



●2024年グリーン購入取り組みランキング



グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。グリーン購入は、消費生活など購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。平成13年4月から、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）が施行され、国等の機関にグリーン購入を義務づけるとともに、地方公共団体や事業者・国民にもグリーン購入に努めることを求めています。

2025年6月今年も全国1788団体のランキングが発表されました。(全国順位は地図参照) みやぎGPN加入自治体は緑・黒字、未加入自治体は白・赤字で示しています。

宮城県内、トップ3は宮城県の64位、白石市は201位、仙台市は203位となっていますが残念ながらいずれの自治体も順位を下げており、今後は、県民総力を挙げて取り組む姿勢が必要だと考えます。

◆案内 りふ環境まるごとフェア2025開催

令和4年度に利府町カーボンゼロシティ宣言を行い、町民に対してカーボンニュートラルの知識や気付きを与え、出来る事について考え行動するきっかけの場として、共に地球環境を守っていこうという想いを醸成することを目的に今年度も開催されます。みやぎGPNも出展しグリーン購入について普及啓発を行います。

・日 時:2025年9月28日(日)10時~15時、場 所:利府町役場、主 催:「りふ環境まるごとフェア実行委員会」

◆募集 居久根の知恵に学ぶネイチャーポジティブな地域との関わり方 宮城 in 大崎

地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律等に基づき、企業や地方公共団体をはじめとする多様な主体に対して、認定制度の認知度や理解の促進・向上を図るとともに、生物多様性増進活動を実施する意義を知り、活動計画を策定するに当たって必要な知識等の習得するための研修を実施します。

・日 時:2025年11月20日(木)予定13時~17時

・主 催：独立行政法人環境再生保全機構

・場 所:宮城県大崎市古川沢田掬33-1 沢田公会堂

詳細はホームページにて10月頃に掲載予定です

【問い合わせ先】NPO法人 環境会議所東北(運営事務局)

TEL:022-218-0761 Email:kk-tohoku@kk-tohoku.or.jp



■情報発信（毎週更新） えしかるちゃんと一緒に考えよう！

👉 こちらからどうぞ

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>

■2024年度より、会員の皆様の情報を広く伝えていくために「みやぎGPNメール通信」を発行しています。新製品、新サービスに加えイベントなどの情報をお寄せいただき、オールみやぎで持続可能な社会実現にむけ進んで参りましょう。